

令和5年度第7回スポーツ団体組織統合検討会議 顛末

日 時：令和5年10月26日 14時00分～15時30分

場 所：駅前交流プラザよろーな会議室4

出席者：明石裕（風連スポーツ協会）、筒井正敏（風連スポーツ協会）、安澤豊（名寄体協）、名和谷香代（名寄体協）、山崎真由美（名寄市議会）、阿部雅司（Nスポーツコミッション）、遠藤貴広（Nスポーツコミッション）、荻野大助（Nスポーツコミッション）、黒井理恵（Nスポーツコミッション）、渡邊康弘（会計士／外部人材）、松澤大介（名寄市）

1. 組織統合検討資料の説明—資料1

松澤（名寄市）より報告

2. 各団体における組織統合検討第1回スポーツ団体組織統合検討会議代表者会議—資料2

3. 新組織における具体的な組織形態・人事体制について—資料3

【各団体の機関決定状況について】

●遠藤（Nスポ）

先日総会も行い、統合を待っている状態。部活動地域移行などの動きに向けても、エコシステム予算を元に、進めて行きたいと思っている。

●明石（風連）

10月に表彰式がある。理事会の中で、松澤さんの提案書を元に話した。機関決定という段階ではない（概ね理解はしてもらっているとは思っている）。なぜなら、風連としては名寄体協が決定してくれないと、正式な決定ができないからだ。理事を含めて状況はみんなに説明し、理解はしており了解は得ているが、文書で決定のカタチを取ろうと思っている、そういう意味で最終の機関決定とはなっていない。名寄体協が決定したら、理事会を開催し決定する、と話している状況。

●安澤（名寄体協）

2月の代表者会議で令和5年度中の統合という方向が決まり、その承認を元に理事会、評議員会とに議題をかけた。しかし評議員会では中身がなく・わからない中で、令和5年度中の統合かつ、名寄体協の法人格を使った統合はできない、と決定した。市の提案ではじまったことなので、素案をつくってもらいたいということで、この「組織統合検討資料」ができたとして理解している。ただ、そこから、いまだ動けなく組織決定が出来ていないのが申し訳ない。先日、理事、監事、評議員とで、会議ではなく対話会というカタチで先日開いた（資料提示）。

（資料から抜粋）

▼組織の名称>現体協がなくなってしまう。コミッションがわかりにくい。

▼組織体制について>全国の設置状況、全道のコミッションの実施状況や活動状況について情報提供をもらって、コミッションがいったいどういう活動をするものなのか、教えて欲しい。それが判断材料になるのでは。現体協が組織形成、経営体制を整えてきたという歴史があるなかで、新しいものは不安。マーケティング事業は不安要素が大きい。民間から提案をうける体制については慎重にすべき。小中高の一貫の組織・指導体制が整えられるというのは期待できる。

▼役員>現役員を除く、とあるが、新しい役員だけでやるよりは、経験のある人材が入った方がいい。

▼採用条件>年齢や人格に関わるところに書いてあるのは問題はないのか？

▼統合>R5に向けて、また名寄体協だけ決まっていなかった状況は良くないだろうという意見。Nスポが法人化して、の後名寄体協と統合するという意見もあるのでは。提案内容は素晴らしいが、行政だけでは解決できないこの問題取り扱うのは急ぎすぎるのでは？

▼今後

- ・少年団・競技団体への説明会を開く
- ・年齢定義などの内容が変わるんだったら、改めて資料がほしい
- ・説明会自体は打ち切りになった。現在、話せなかった人、欠席者含め、書面でなにか書いてください、ということで意見を参集しており、11月6日までに提出希望で聞いている。

【協議】 () 内は発言者の組織名

・(名寄市) いま決定しているのはNスポのみ。風連の機関決定のタイミングは？ここはもらえないと進めない。

・(名寄体協) 最終的な決定は理事会→評議員会となる。

・(風連スポ) 理解してくれてると思うので、統合にむけた理事会を開いていく。いつということではないが早くしてくれというならそうする。

・(名寄市) 施設の指定管理にあたり、名称変更などの手続きもあるため、11月中にやってもらいたい。

・(風連スポ) 理事たちはこれまでの審議は理解してくれている。ただ組織なので、きちんと文書で決定しようということになった。しかし名寄体協の議論で違う意見がでてくるなら、話しが変わる。名寄体協の動向をみながら進めていきたい。

・(N スポ) 名寄体協の話しを聞いていると、これまでの議論で作ってきた基本事項が、元に戻ってしまっている。代表者会議で決めたことを戻すというのは、いかがなものか？

・(名寄体協) たしかに代表者会議で合意したが、会長も理事の一人という立場。一般財団法人として効

力を発揮するのは、理事が決めたことを評議員が決めないことには、決定できない。

・(N スポ) 評議員会の議事録の中で、事業内容等に関しての話し、マーケティング不安要素大きいとか、可能性があるとかないとか、正直、発言に根拠がなく、個人的な感想でしかない。名寄市と N スポが提示している統合資料はきちんと数字を細かく掲載し、かなり具体的に見せている。大きなお財布を一つにしてというのが名寄市としての大きな方針としてある。これ以上細かな話しをここで調べて話しても「これで大丈夫！」なんてものは出てこないし、新組織になることで出てくる課題も含めて、それは新たな組織が必要な情報を集めて考えるべきなのでは。これ以上意見を集めるなど、そこに時間を費やしても仕方がないのでは？

・(名寄体協) 確かに、新しい組織で考えるというのが大事だが、役員の中からはこういう率直な意見が出されたということ。

・(山崎) 名寄体協の状況みると、やっと表に感想がでてきた、という状態。時系列を考えると遅い。一方で体協の理事・評議員、全体一緒の会議だったということなので、これをスルーすることもできないだろう。11月に競技団体にこれから説明ということであれば、不安な状態でさらに意見がでてしまうのでは。そうなったときにどうするか、この検討会議で考えていけばいいのでは。

・(名寄体協) 巻いてやっていこうとは思っているが、組織決定がやっぱりだめだった、ということもあり得る。現在の定款変更なら、現評議委員の3分の2の承認が必要になる。今のままだと承認されないかもしれない。

・(山崎) 風連・名寄体協の2者の会長と市長との代表者会議で、市長がR5の統合で、と何度も念押しして聞いて、会長2人が「やります」と言った、それを私たち全員が聞いている。報道もされている。そんな中でやっぱり統合しません、とはなりにくいのでは。風連は法人統合については、名寄体協の動向をみての判断ということだった。なので、最終決定になっていない、ということだと思う。

・(風連スポ) 名寄にはそこはがんばってほしい。焦って逆効果になることもあるが、きちんと末端までおろして、新しい組織はこうなるよと話さないといけないのでは。

・(渡邊) 3つの組織が一つになるときに、過去のしがらみにとらわれて動けなくなるようなことは避けなくてはならない。そのためにこれまでの人材だけでなく、新しい人を入れてフレッシュスタートしたほうがいいとアドバイスした。名寄体協が持つ財産については「取られる」という感覚があるかもしれないが、そのまま解散してしまうと国か市に返却するだけだ。端から見るとこの3団体はすべて「名寄市」の団体(行政管轄の団体)に見え、それが統合するだけだという風にしか見えない。なぜ、前を向いて統合していくのかというと、誰も経験していない規模の人口減少がこれから控えているからで、その課題に向けてみんなで合意形成をしているのだと思う。あと、全員の意見を聞いていくという話しも出ているが、そうすると話しはおかしくなっていくことは多い。みんなの意見を100%聞くことはできないなか

で、総論賛成なのであれば強行させていく必要もあるのではないか。

・(阿部) 議論が元に戻ってしまったような気がして、不安だ。もっとこうしたら良くなるのでは、という前向きな議論ができる場になると思っていたのに、統合できないかもしれないなんていう話しがでてくるとは思ってもいなかった。最終的に想いは一緒だと思うので、このタイミングで一緒になる・ならないといった議論に時間を費やしたくない。どうやったら、名寄市民が笑顔になれるのか、ということを考えられるようにしたい。名寄体協も理事者への説明などは難しいと思うが、説得してくれないと前に進めない。手助けが必要あればやるので、言って欲しい。

・(風連スポ) 市長も含めた代表者会議で決定したことが反対されるなんてありえない。いまこんな話しがでているのに驚いている。風連スポーツ協会の理事は理事会に全員入っていて、あとでひっくり返ることはない。名寄体協側の状況で変わる可能性があるから、最終決定となっていないだけだ。

・(名寄体協) 法人として R5 年度中、法人格をつかって、というところだけでも承認とっていきかけたが、そこまでもいかなかったのが現状。総論に対して反対はない。プロセスに問題があるという意見がでているだけだ。

・(風連スポ) 3 団体が入っている代表者会議で決まったのだから、それをこの検討会議で覆るということが起きたら大変なことである。統合に向けてということで、何回もこの検討会議を重ねてきた。基本的には R5 中に統合をして、細かな事は統合のあとでいいのでは。まずは名寄体協にがんばってもらえない。

・(N スポ) いろんな人に話せばいろんな意見はでてくるだろう。方向性は「統合」ということをしっかり示して、追加修正をしていけばいい。統合したあとに、どうしていくかを考えるべき。「統合する」という目的を見失わないようにしたほうがいい。

・(名寄市) 今後、具体的な統合にむけては準備室が必要になると思っていて、専門委員会など儲けた方がいいだろう。

・(風連スポ) 事務局長について、非常勤になる可能性もあるのか？それは難しいのでは。

・(名寄市) 事務局長の要件については、国の「地域活性化企業人」の要件をいれているだけ。実際の条件は話し合っていて決めていくことになる。

・(風連スポ) 名寄体協でも意見がでていたが、「現役員を除く」という記載についてはどうだろうか。

・(風連スポ) 新しい組織をつくるなら、若い、新しい人にやってもらいたいと思う。これが個人の意見。古い人が入っていると、やはり「以前はどうしていたか」と思ってしまうはず。新しい組織には、新しい

人材でぐっと若返ってほしいと思う。

・(名寄市) これまでのご苦勞を排除するというのではなく、新しい、若い人たちの力を採用する、という考え方だ。

・(山崎) 新しい組織になったときに、古い組織の人と綱引きが起きないようにすべき。新しい人たちがそこで苦勞してしまっただけでは意味がない。新しい組織のなかで、これまで活動してきた人たちの声を拾い上げてくれるはず。

・(名寄市) 新しい組織については「現役員」と表現しているが理事も含めて、現在その職に就いていない人をお願いしたい。失礼だという名寄体協からの指摘があって、表現が適切ではなかったかもしれないが、とはいえ、そうしてもらいたい。

・(名寄市) 今後は少年団や競技団体がどういう事業にどういう関わりになっていくのか、ということを中心に関係者に説明していったほうがいいと思っている。今後、次のステップに進めるための期限はどうしたらいいか？

・(風連スポ) 名寄体協の評議員会は？11月下旬までには、風連も理事会を開きたい。

・(名寄体協) 現在アンケートをとって、意見交換を予定しているので、それらを受けて今後の時期を決めたい。

・(渡邊) このタイミングで細かい議論をしても仕方がない。細かい話しは、新組織になることが決まってから決めていくべき。専門委員会の中でやっていくべきだし、役割分担していくのが大切。私自身はしがらみなく、公平にジャッジしていく立場を取りたい。この新組織ができると、遠くない将来に近隣地域の地域も巻き込んだ組織になっていこう。それを踏まえて大志をもっていくといいと思う。

・(阿部) 細かいことは専門委員会で決めていくべきで、今後どうしていったらいいかを積み上げていけばいいと思っている。名寄がうまくいけば全国のモデルにもなるだろうし、道北全体をまとめていけるだろう。

以上